

Q1 原爆の子の像

(解説)

白血病と診断され入院した禎子さんは8か月の入院生活の末、亡くなった。

禎子さんの死後、同級生たちは記念碑を建てたいとの思いから全国に募金を呼び掛け、1年後には平和記念公園へ設置することが決まった。

Q2 ひめゆり学徒隊

(解説)

「ひめゆり」という名称は両校が同じ場所に設置される際に、県立第一高等女学校の学校広報誌（乙姫）と、沖縄師範学校女子部の学校広報誌（白百合）が統合され「姫百合」となったことが由来であり、戦後、「ひめゆり学徒隊」と呼ばれるようになった。

Q3 原爆死没者の遺骨

(解説)

1946年に市民からの寄付により、仮供養塔、仮納骨堂・礼拝堂が建立され、10年後の1955年に広島市が中心となり、老朽化した納骨堂を改築し、各所に散在していた引き取り手のない遺骨がここに集め納められた。

Q4 防空壕をつくるため

(解説)

建物疎開は主に軍事施設や重要施設があった都市部で行われた。延焼防止を目的に防空法に基づく手続きの下で行われていたが、戦局の悪化により適切な手続きが踏まれることなく、軍や警察の命令によって強制的に行われることもあった。

Q5 独ソ不可侵条約

(解説)

この条約には秘密議定書が付随しており、東ヨーロッパの勢力圏をドイツとソ連で分割することなどが定められ、条約締結からわずか1週間後の1939年9月、ドイツは秘密議定書の内容に従いポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が始まった。

Q6 日清修好条規

(解説)

下関条約は、1895年に日清戦争後に結んだ講和条約。

天津条約は、歴史上、複数存在し、日清間で結んだ天津条約は1885年に甲申政変の事後処理として締結された。

日露和親条約は、1855年に日本とロシアで締結した条約。

Q7 ノルマンディー上陸作戦

(解説)

本作戦の成功により、ドイツは西部戦線で再び地上戦闘を強いられ、翌1945年5月の降

伏につながったことから、連合国軍の勝利を決定づけた転換点となった。

Q8 ミッドウェー海戦

(解説)

ミッドウェー島を攻略し、アメリカ空母部隊を撃滅しようとした日本軍の作戦は失敗、アメリカ軍の迎撃により、主力空母等を失い日本は大敗を喫した。この敗北をきっかけに太平洋戦争の主導権は完全にアメリカへと移った。

Q9 バルバロッサ作戦

(解説)

ヴェーザー演習作戦は、1940年4月にドイツがデンマークとノルウェーに侵攻した作戦。

マリータ作戦は、1941年4月にドイツ軍がユーゴスラビアとギリシャへ侵攻した作戦。

アシカ作戦は、第二次世界大戦中にドイツが計画したイギリス本土上陸作戦で、イギリス空軍との航空戦の結果の悪さから無期限延期となり、実施されることはなかった。

Q10 安寧秩序（あんねいちつじょ）

(解説)

堯年舜日（ぎょうねんしゅんじつ）

…天下泰平（世の中がよく治まり、穏やかな様子）の世の中であることのたとえ。

文恬武嬉（ぶんてんぶき）

…世の中が平和なことのたとえ。文官は心安らかに落ち着いていて、武官は日々を楽しんでいるということから。

堯風舜雨（ぎょうふうしゅんう）

…世の中が平和で穏やかなこと。堯帝と舜帝が善政を行って、人々にもたらした恩恵を風や雨にたとえた言葉。